



学校だより 穂波平

令和6年度 第6号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

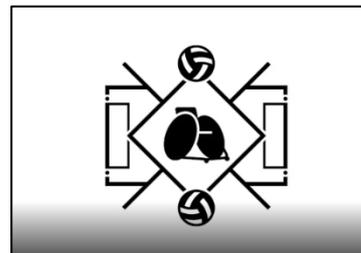
学校教育目標 「主体的に行動する生徒」

●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

「笑顔で」

校長 佐藤 哲洋

2学期の始業式で、私はパリオリンピックで金メダルを獲得したスケートボーダーの吉沢恋さんのお話をしました。今日は、オリンピックの後、同じくパリで開催されたパラリンピックのお話をします。パリパラリンピックも、オリンピック同様、アスリートの皆さんの活躍、限界に挑む姿に多くの感動と勇気をもらいました。日本の選手も様々な競技で素晴らしい成果を収めました。車椅子ラグビー日本代表選手の活躍もその一つです。東京パラリンピックでは銅メダルだった車椅子ラグビー日本代表は、パリパラリンピックで悲願の金メダルを獲得しました。その車椅子ラグビー日本代表の中に一人だけ女性がいます。それが倉橋香衣選手です。私は以前、倉橋選手の特集を見たことがあります。倉橋選手は鎖骨から下の感覚がほとんどなく、肩と腕の一部しか動かすことができません。日本代表に選ばれた当初は、他の選手の動きに全くついていけないときもあったそうです。そんな倉橋選手が心がけてきたことは「とにかく走ること、とにかく動き続けること。そしていつでも笑顔でプレイすること」だそうです。実際、大会後に、同じ日本代表のチームメートである橋本選手が、倉橋選手の笑顔のことについて「準決勝で延長戦になった時、吐きそうなほど緊張したけれど、倉橋さんを見たら、すごい笑顔で、それを見て、すっと肩の力が抜けた。」という話をしていました。そして、見事、決勝戦でアメリカに勝って金メダルを手にしたのです。メンバーの中でも最も重い障がいをもつ倉橋選手が、日本代表チームの中で、笑顔でチームに勇気と力を与えているということに心を打たれました。厳しい練習中や激しいぶつかり合いがあるラグビーの試合中でも、常に笑顔で活動するということは並大抵なことではないと思います。その競技に真剣に取り組み、心から楽しんでいるからこそできることだと思います。ここ一番の勝負どころで、笑顔は人や組織にとって大きな力となるのだということを実感しました。私たちの生活でも、辛いことや苦しいことがあります。そんなときこそ、笑顔で乗り越えていく力を付けたいと改めて思いました。



【パラリンピック
車いすラグビーピクトグラム】

さて、四中は、四魂祭のシーズンに入りました。私は、2学期になって皆さんの歌声が校長室に聞こえてくるたびに「歌声の響く学校っていいなあ」と心から感じています。これまで皆さんは学級、学年、学校全体で感動できる歌声をつくろうと、生徒会本部役員、歌声委員の皆さん、指揮者や伴奏者の人たちを中心に取り組んできたと思います。明日はその成果を十分に発揮して思う存分表現してください。そして、皆さんが笑顔になる四魂祭になることを期待しています。

また、笑顔あふれる四中を、生徒会スローガン「共創」のもと、みんなで創り上げましょう。

【令和6年10月2日 全校集会より】

四魂祭文化の部「百花繚乱」 令和6年10月3日



2学期に入り、各教室から歌声が聞こえてくるようになりました。はじめはぎこちなく、小さな音でしたが、日に日に各パートの音が安定し、学級がひとつとなるにつれ、力強く校舎内に響くようになりました。迎えた当日、どの学級、学年も最高の歌声となりました。まさに生徒会が謳っている「シン三大文化」のひとつ、「歌声」が四中の文化として根付いた瞬間を目の当たりにできました。文化の部実行委員長の池田結衣さんは、開会の言葉で「一生の

思い出に残る文化の部にしたい」と話していました。その言葉通りの歌声が響く文化の部となったのではないのでしょうか。また、歌声委員長の下山実李さんは全校生徒に「文化の部を通して、どのような学びを得ることができましたか」と問いかけました。実李さん自身は「仲間と共に努力することの大切さや楽しさ、一つのを創り上げることの楽しさ、音楽が人に与える力の大きさ」を学んだと話しました。それぞれが自身のこれまでを振り返り、目指すべき自分や、新たな自分に気づいたのではないのでしょうか。次は体育の部です。学級、学年の絆を固くし、一生の思い出に残る四魂祭を創り上げましょう。

P T A 常任委員の皆様には保安係、広報委員の方には写真撮影を担当いただき、大変ありがとうございました。また、保護者の皆様には、体育館入場への譲り合いのご協力、誠にありがとうございました。



新生徒会役員選挙 令和6年9月13日

次期生徒会役員選挙の投開票が行われました。各立候補者が「四中をどのようによくしていきたいのか」を自分の言葉で全校生徒に語りかけることができました。任期は令和6年11月1日から令和7年10月31日までの1年



間となります。先輩からの伝統を継承しつつ、新たな四中を創造してほしいと思います。

奉仕作業 令和6年9月28日

朝6時30分という早朝から、多くの保護者にご参加いただきました。



また、アルミ缶やベルマーク、段ボール等をお持ちいただき、たくさんの量を回収することができました。校庭内外の草がなくなり、美しい環境の中で体育の部を行うことができます。本当にありがとうございました。